

# 伝染性紅斑の流行について

## 根室保健所

### 伝染性紅斑とは？

ヒトパルボウイルスB19の感染による、紅斑を主症状とする感染症です。両頬がリンゴのように赤くなることから「リンゴ病」と呼ばれることもあります。小児（2～12歳）に多いですが、乳児、成人が罹患することもあります。

- 潜伏期は4～15日で、顔面、特に頬に境界明瞭な平手で打ったような赤い発しんが突然現れます。続いて、手・足にレース状の発しんが現れます。
- 発しんの他に発熱、関節痛、咽頭痛、鼻症状、胃腸症状などを合併することもあります。
- 発しんが現れる時期には、ほとんど感染力はありません。発しんが現れる7～10日くらい前に微熱や感冒様症状などが見られることがあり、この時期のウイルス排泄量が多くなります。
- 一般的に経過は良好ですが、妊婦の方が感染した場合は、胎児水腫や流産を起こすことがありますので、感冒様症状のある方との接触を避けるなど注意が必要です。

### 予防法は？

- 周囲への感染力がある時期は、発疹が現れる前で特徴的な症状がないことから、特別な感染予防法はありません。
- 感染経路は、せきやくしゃみ、つばなどに含まれたウイルスによる感染（飛沫感染）やウイルスが口や目などの粘膜に入ることによる感染（接触感染）ですので、日ごろから、うがい・手洗いをしっかりと行うことが大切です。

### かかってしまったら？

- 特別な治療法はなく、対症療法のみです。
- 妊婦の方で感染が疑われる場合は、医療機関へ相談してください。

※詳しい発生状況や今後の動向につきましては、「北海道感染症情報センター」のホームページを御参照願います。（<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>）



#### 【問い合わせ先】

根室保健所 健康推進課保健予防係

住所：根室市弥栄町2丁目1番地 電話：0153-23-5161